

## WHO-FIC トリエステ会議について

- 主 催： WHO、WHO-FIC イタリア協力センター共催  
開催期間： 平成 19 年 10 月 28 日(日)～11 月 3 日(土)  
会 場： イタリア国フリウーリ＝ヴェネツィア・ジュリア州トリエステ市  
Plalazzo dei Congressi (議会堂)  
参 加 者： WHO、協力センター10カ所、厚生、統計関係部局、オブザーバー等 27カ国  
168 名が参加

### 主な議題について：

#### (1) ICD-11 改訂及び改訂運営会議(RSG)からの進捗状況報告

- \* ICD revision の方向性及び最終イメージについて RSG シュート議長より提示
- \* 各 TAG のチェアより改訂の現状報告
  - ・ 精神(2007 年 1 月に第一回会合を開催。改訂に関するペーパーを準備中。)
  - ・ 希な疾患(Orphanet のデータベースと ICD をリンク。第 17 章を担当。)
  - ・ 外因(ICECI 等の分類との整合性を図る。改訂に関するペーパーを作成。)
  - ・ 内科(担当範囲の検討とWGの準備。)
  - ・ 腫瘍(IARC 等と協調。ICD-O 等の既存の分類の考え方を導入。)
  - ・ その他(感染症、歯科、眼科、産科、小児科領域等の専門家とコンタクト。)

#### (2) ICF 活用の新しい展開についての報告

- \* ICF-CY に関するベニス会議の報告
- \* ICF におけるターミノロジーの開発など

#### (3) 各種委員会報告

##### ● 企画実行委員会(Planning Committee)

1)planning committee から council(仮称)へ組織が変更(詳細未定)

- \* council のメンバーは以下のとおり
  - ・WHO 担当官(地域事務局を含む)

- ・各委員会及びレファレンスグループのチェア(RSGのチェアを含む)
- ・協力センター長(申請中も含む)

- \* 初代 council(仮称)のチェアを選出(任期2年)
- ・マハティ・ベトナム氏(ノルディックセンター長)
- ・マージョリー・グリーンバーグ女史(北米センター長)

2) annual meeting(年次会議)から assembly(仮称)へ組織を変更(詳細未定)

- \* assembly(仮称)の参加資格(WHO 担当官以外)
- ・協力センターからの代表
- ・WHO と公式な関係を有する NGO からの代表
- ・WHO 本部が参加を認めた WHO 加盟国からの代表(日本はここに該当することになる)

● 普及委員会(Implementation Committee(IC))

- \* 第2回アジア・パシフィックネットワーク京都会議について報告
- \* アジア・パシフィック地域以外の地域の情報の共有化、連携の可能性についての検討

● 分類改正改訂委員会(Updating and Revision Committee (URC))

- \* ICD の改正について 125 議題について審議;
- ・89 提案受け入れ

● 教育委員会(Education Committee(EC))

- \* 死因コーディング認定プログラムの完成
- \* 疾病コーディング認定プログラム作業の開発

● 電子媒体委員会(Electronic Tools Committee(ETC))

- \* ICD メンテナンスツールの改訂作業
- \* ICD-11 改訂作業ツールの開発

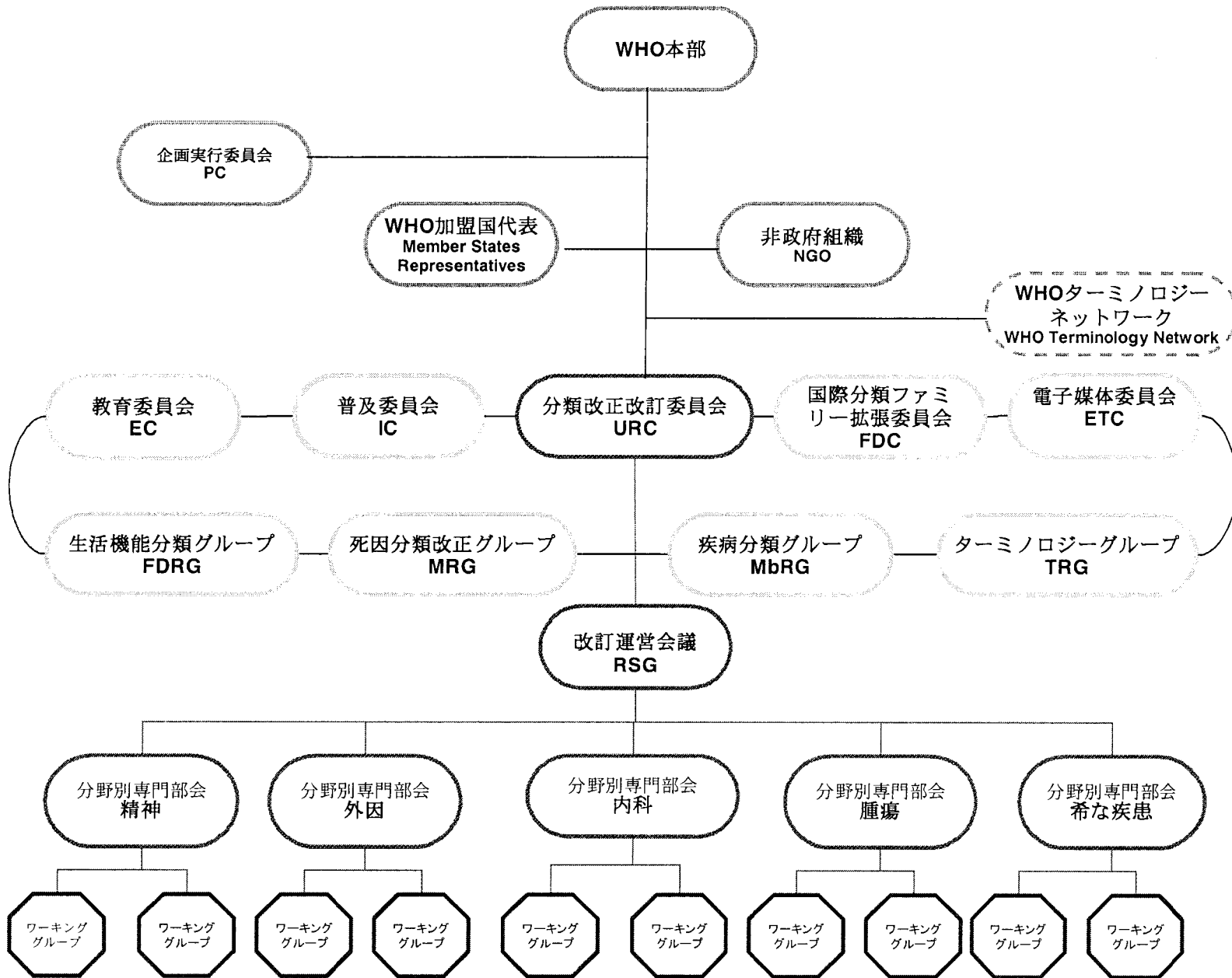
● 国際分類ファミリー拡張委員会(Family Development Committee(FDC))

- \* 看護の国際分類(International Classification of Nursing Practice(ICNP))(仮称)の国際分類ファミリーへの加入(関連分類)を勧告
- \* 伝統医学(Traditional Medicine)の国際分類ファミリーへの加入(関連分類)を検討

- 死因分類改正グループ(Mortality Reference Group (MRG))
  - \* 死因分類に関する 50 議題を議論;
    - ・15 合意(URC へ提出)
    - ・ 5 要点合意(修正ののち URC へ提出)
  - \* RSG への参加(共同議長のオブザーバー参加を提案)
  
- 疾病分類グループ(Morbidity Reference Group (MbRG))
  - \* 疾病分類について 12 提案を URC へ提出
  - \* 共同議長の交代(R.マッデン氏から K.アイネス氏へ)
  
- ターミノロジーグループ(Terminology Reference Group (TRG))
  - \* WHO-FIC と IHTSDO の連携について議論
  - \* 分類とのマッピング作業を検討
  
- 生活機能分類グループ(Functioning and Disability Reference Group (FDRG))  
(基準、改正、ICD との調和、測定と活用、教育、倫理、環境因子、ターミノロジーに関する 8 つのプログラムにより構成)
  - \* 改正のサイクルを提案
  - \* オントロジーの作成を検討
  
- URC、MRG、MbRG 合同会議
  - \* 大改正(Major update)は、当初予定の 2009 年から 2010 年に延期。小改正(Minor update)は 2012 年まで実施
  - \* MRG の共同議長が、RSG にオブザーバー参加することを WHO 事務局に提案

次年度開催予定:平成 20 年 10 月 26 日(日)~11 月 1 日(土)インド

# WHO - F I C 組織図



KMSポータル(知識管理インターネットプラットフォーム)

フィールドテスト

# I C D改訂に関する動向について

資料2

## 1. これまでの動向

平成19年

- ・ 10月 5日 国際WG協力員説明会
- ・ 10日 第12回社会保障審議会統計分科会
- ・ 25日～  
26日 死因分類改正グループ (MRG) 会議
- ・ 27日 生活機能分類グループ (FDRG) 会議  
疾病分類グループ (MbRG) 会議  
ターミノロジーグループ (TRG) 会議
- ・ 28日～  
11月 3日 WHO-FICネットワーク会議2007
- ・ 11月12日 オントロジー勉強会
- ・ 26日 国内内科TAG検討会

平成20年

- ・ 1月18日 国内内科TAG検討会

## 2. 今後の予定

- ・ 2月28日～  
3月 1日 疾病分類グループ (MbRG) 会議